

舞鶴高専電気情報工学科教員の業務内容

2016/10/14 舞鶴高専 平地克也

◎授業

週に講義を3回程度、実験指導を1回します。講義は1回90分、実験は180分です。ただし、今回赴任いただく方は当面の間は講義は少なくします。

◎研究室の運営

全教員がそれぞれの研究室を運営します。学生は4年生の後期から研究室に配属されず、1研究室あたり4年生4名、5年生4名、専攻科生1名程度が配属されます。研究内容、研究方法は概ね大学と同じです。学会発表も行います。今回赴任いただく方は平地研究室の実験設備を使用可能です。研究テーマも相談に乗ります。配属学生は少なめにしますので学位取得のために自分の研究を進めて下さい。

◎担任

大学とは違って高専には担任があります。電気情報工学科の教員は3年生から5年生までの担任を担当します。まず3年生を担当し、持ち上がりで5年生まで3年間担任を行います。1学年1クラスで教員11名なので、10年に1度ぐらいの割合で担任の仕事が回ってきます。小中学校では生徒の生活指導が大変ですが、高専生は充分大人なので生活指導よりも進路指導や成績不良者のフォローなどが重要な仕事になります。3年間の付き合いとなるのでクラスの学生とは強い繋がりができます。私は10年ほど前に担任を経験しましたが、楽しい思い出となっています。なお、助教は担任業務は免除されます。講師に昇進してから担当します。

◎クラブ顧問

1つまたは2つのクラブ活動を担当します。年に数回試合の引率などを行います。

◎学寮の宿直

舞鶴高専には定員600人の大きな学寮があり、教員が毎日交替で宿直します。年に4回程度回ってきます。問題が無ければ特に何もすることはないのですが、急病人を搬送したり学生の相談に乗ったりすることがあります。

◎校務

教務委員会、学生委員会、寮務委員会、情報科学センター、テクノセンターなどいろいろな委員会やセンターがあり全教員が分担して担当します。1人当たり2つ程度です。例えば寮務委員になると時々学寮の見回りなどを行います。

以上